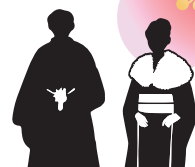




二十歳の つどい 特集

Coming-of-Age Ceremony



令和7年
佐野市二十歳のつどい

- ▶対象者 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方
- ▶該当者数 1,150人
- ▶出席者数 902人(78%)

令

和7年1月12日(日)、令和6年度に二十歳を迎える市民を対象に「佐野市二十歳のつどい」が盛大に開催されました。

今年も「佐野」「田沼」「葛生」の3会場に分かれてそれぞれ式典が行われました。佐野会場として毎年「佐野市文化会館」を使用しましたが、現在建物の大規模改修工事を実施しているため、今年の佐野会場は「花・花薬局さの体育館」に変更となり、田沼会場として「田沼中央公民館」、葛生会場として「葛生あくどプラザ」に、合わせて902人の二十歳の皆さんが参加しました。各会場では、久しぶりに再会した友人たちと笑顔で話し、写真撮影をする姿が多く見られました。

式典が始まると「二十歳のつどい代表のことば」や来賓からの祝辞に、参加者たちは真剣な表情で耳を傾けていました。

式典を裏側で支えたのは、二十歳のつどい企画運営委員のメンバーたち。それぞれの会場で、式典や式典後のアトラクションを企画し、会場を盛り上げてくれました。

これから未来に向かってそれぞれ道を歩み始めた二十歳の皆さん。今回の特集では、二十歳のつどい各会場の様子を写真でお届けするとともに、二十歳の皆さんに、将来の夢をお聞きました。



20年前はこんなことが...

二十歳の皆さんが生まれた2004年(平成16年)は、こんな出来事がありました。

- アテネ五輪で日本選手大活躍、メダル最多の37個
- 運転中の携帯電話使用が罰則対象に
- 韓流ドラマ「冬のソナタ」で、ヨン様フィーバー
- シアトル・マリナーズのイチローがシーズン最多安打記録を84年ぶりに更新
- 日本で新紙幣発行(1万円札が福澤諭吉、5千円札が樋口一葉、千円札が野口英世)
- ニンテンドーDSとプレイステーション・ポータブル発売

流行語2004大賞 チョー気持ちいい

アテネ五輪男子100m平泳ぎで金メダルを獲得した北島康介選手がインタビューで発言!

希望に満ちた未来に向かって

佐野市の自然豊かな環境で育ち、数々の時間と思い出を共有した友人たちと、二十歳という人生の節目を迎えることができ、大変嬉しく思います。私たちをここまで育て、支えてくださった全ての方々には心より感謝申し上げます。

二十歳という年齢は、人生の旅路における航海の始まりのようなものだと感じます。これまでは家族や恩師、地域の方々という「灯台」が私たちを守り、導いてくださいました。これからは、未知なる海原に向けて自らの手で地図を描き、航路を切り拓いていかなければなりません。その旅の途中では、嵐や荒波に遭遇することもあるでしょう。

しかし、そのたびに今日という日を「原点」として思い返し、立ち止まる勇氣と再び漕ぎ出す力を得ること、航海を続けていけると信じています。

また、未来は不確実性に満ちていますが、私たちだからこそできること、切り拓ける可能性が必ずあると信じています。

今日のこの特別な節目に新たな責任と期待を背負い、広がる未来の可能性に胸を膨らませながら、これから訪れる多くの出会いや挑戦、困難さえも糧として、自らの航路を力強く進んでいきたいと思っています。



木村 桜 さん
Kimura sara

二十歳のつどい企画運営委員
田沼会場 代表のこぼ